

米国経済・株式市場情報

# 米国ハイ・イールド債スプレッドは再び縮小傾向

新型コロナウイルス感染拡大で一時拡大したものの、再び資金が流入

- ▶ 低金利環境が継続する中、米国企業は積極的に債券を発行し、資金を調達。
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大によりハイ・イールド債は一時売られたものの、再び資金が流入し、スプレッドは縮小。
- ▶ 当面は堅調な推移が見込まれるものの、業績悪化を背景とした企業破綻の増加には注意。

## ～社債発行による資金調達意欲は旺盛～

- 米国証券業金融市場協会によると、米国ハイ・イールド債（ジャンク（投資不適格級）債：ダブルB格以下の信用格付けを有する）の2020年1～7月までの発行額は約2,240億ドルと、過去最多であった2013年の発行額（3,320億ドル）を超えるペースとなっています。低金利を利用した企業の資金調達意欲が旺盛であることがうかがえます（図表1）。

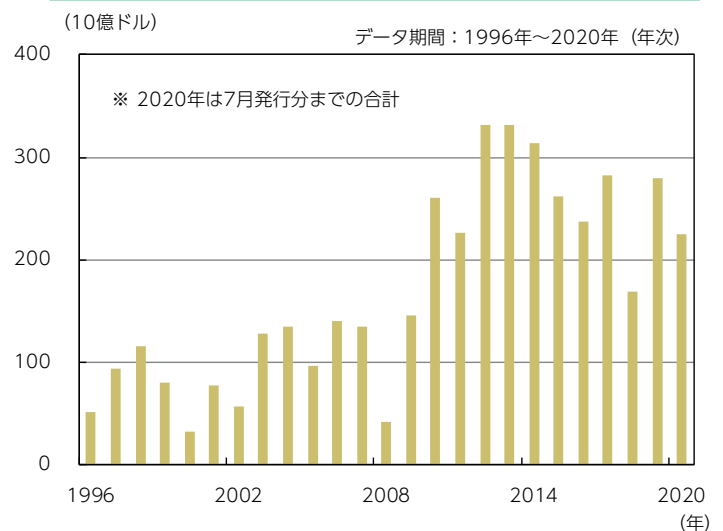
## ～ハイ・イールド債スプレッドはコロナ前の水準～

- ハイ・イールド債の発行額は大きく増加しているものの、市場では順調に消化されています。一般的にハイ・イールド債の需要の強さを示す国債とのスプレッド（金利差）は、新型コロナウイルス感染拡大を受けた企業業績悪化懸念や信用リスクの上昇に伴い、3月に大きく拡大（需要が減少）しました。しかし、市場が落ち着くに連れて利回りを追求する投資家等から資金が流入し、高水準のハイ・イールド債の発行を消化しながら、ほぼ感染拡大前の水準を回復しています（図表2）。また、FRB(米国連邦準備制度理事会)による社債購入プログラムではハイ・イールド債券の購入額は限定的となっているものの、FRBが幅広く社債を購入していることが、投資家の安心感につながり、ハイ・イールド債市場に資金が流入している要因の一つとも考えられます。

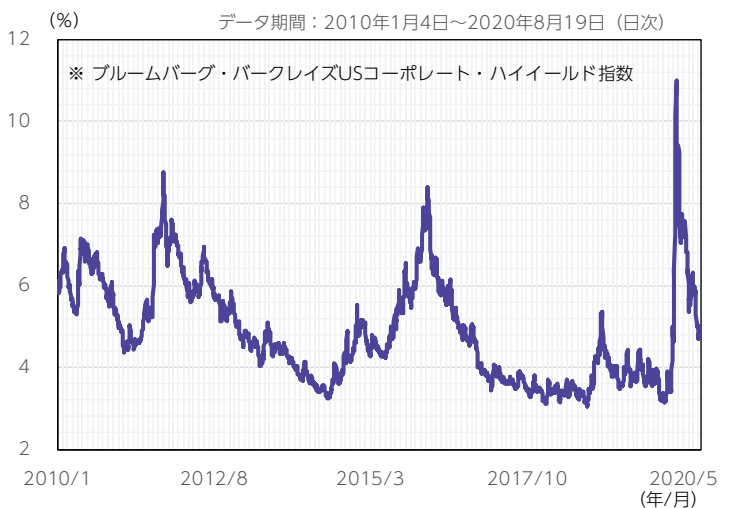
## ～FRBの支援もあり堅調な推移を見込む～

- 今後もFRBによる金融緩和政策の長期化が予測され、低金利が続くことが見込まれる中、ハイ・イールド債には引き続き利回りを追求する投資家等からの資金流入が期待できそうです。さらに、景気回復が軌道に乗るまではFRBが潤沢な資金供給を続ける姿勢を示していることも、

図表1：米国ハイ・イールド債発行額の推移



図表2：米国ハイ・イールド債スプレッドの推移



ハイ・イールド債市場にとって追い風です。業績悪化等による企業破綻が大きく増加しない限りは、堅調な地合いが継続するものと考えられます。足元の各中銀のバランスシート拡大によるカネ余り、米国株高の環境は2017年半ば～2018年半ばの環境と類似しています。当時のスプレッドは3%台であり、現在5%程度であるスプレッドは当時の水準まで縮小する可能性があるものと思われます。

出所) 図表1は米国証券業金融市場協会、図表2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>